

元気な海士

地域活性化や産業振興のための活動、パワー溢れる海士人の活躍を掲載！

消防団 出初め式



1月6日、隠岐島前高校の体育館にて、海士町消防団出初め式が行われました。
本部班と地区12班、消防団員76名が参加して通常点検を行い、地域防災力の維持と向上への決意を新たにするとともに、新年の無火災・無災害を祈願しました。

来賓祝辞では、「初期消火など住民自らの手によるきめ細かな活動は欠かせない。深い郷土愛と強い責任感をもって、町民の信頼に応えられるよう切望します」（町議会議長）など、『地域防災力の核』である消防団への期待と応援の言葉をいただきました。式典後は、菱浦湾に向けた一斉放水を行いました。
消防・防災活動は、町民一人ひとりが当事者意識をもち、消防団員とともに地域一丸となつて取り組んでいただくことが大切です。今後もより一層、消防行政へのご協力をお願いいたします。



表彰者（敬称略）

■海士町消防団長表彰

（精勤章）

5年勤続

真野和男、淀晋作、竹谷正人、松井恒夫、面谷洋行、寺下元樹

10年勤続

大橋安王、田邊敏誠、和多田利明、島根茂樹、宇野千秋

15年勤続

永原 馨、小新幸晴、大江和彦、青木秀明、上村安史

■海士町長表彰（10年）

勤続章

田邊敏誠、大橋安王、和多田利明、島根茂樹、宇野千秋

勤続章

小新幸晴、永原 馨

勤続章

宇野伸二、青木秀明、上村安史

表彰章

水上紀之、津久田隆樹

功績章

津久田隆樹

■島根県知事表彰

永年勤続功労章

横辻隆男

■日本消防協会会長表彰

精勤章

前田忠章

活動写真家のたまご、奮闘！

映画「カミハテ商店」撮影

2月上旬から約3週間、崎地区で、京都造形芸術大学映画学科の学生らがプロと共同製作する映画「カミハテ商店」（高橋恵子さん主演）の撮影が行われました。舞台セットは、崎の徳田屋さんの納屋を改装した商店。町では、道具類の調達やスタッフの皆さんの島暮らしのサポートを行いました。学校側も初の地方ロケであり、昨年から崎で映画イベントを開催したり、食の感謝祭にも参加。先月も上映会やあがた森魚さん（本作出演）ミニライブを行うなど、地域との交流の場も盛んに設けられました。崎の皆さまには、ロケ隊の食事の世話や食材提供など多大なご協力をいただき誠にありがとうございました。

映画はこの後、新年度の授業で編集・加工し、配給の営業活動まで学生も一緒にいきます。秋には造形大と海士町で完成披露上映を行ない、その後映画祭に出展、来春には全国劇場公開予定です。
（交流促進課・山岡）

※カミハテ上終。映画で登場する地名（造語）



菱浦でのロケ風景。座っているのが高橋恵子さん



崎でのロケ風景。



崎の納屋を改装して舞台に。

★ロケ詳細レポートは役場サイトで掲載しています！

第40回 立春式

インフルエンザのため延期となっていた立春式が、2月19日、隠岐開発総合センターにおいて行われました。今年度立春式を迎えたのは、海士中学校の2年生20名(男子12名、女子8名)でした。

海士町では昔の元服にちなみ、昭和47年より2月4日(立春の日)を「少年の日」と定め、「青少年の夢と希望を育て、栄える町にしましょう」(町民憲章)と、町独自で設定した「自覚・立志・健康」をテーマに、少年の前途を祝福し希望を抱いてもらうために立春式を行っています。

式典では山内町長から、「次代を担う、海士町の財産である皆さんのことを誇らしく思いま



が、「海士中学校の生徒会では、スローガンとして『絆く仲間と一歩を踏み出せ』を掲げ、さまざまな活動にとりくむ努力をしています。これは、町長様をはじめ多くの海士町民の皆様が、海士のために何かできることはないかと力を合わせ努力している姿を見て感じたことでもあります。僕たちは、奉仕活動やゴミ拾いに地域の人たちへの挨拶をしつかりするなどして、海士に貢献したいと思っています。海士町のために僕たちもがんばっていきたいと思います」と誓いの言葉を述べました。(左写真)

式典後には代表5名の生徒が、「介護福祉士という夢に向かってさらなる一歩を自信を持って踏み出したい」「祖父のような強い心を持つ人になりたい」といった将来の夢やこれからの自分のあり方について、「少年の主張」として述べました。

その後、隠岐国学習センター長の豊田庄吾氏より激励の言葉をいただきました。豊田氏は、「海士町の良さ、自分の力を認識し、自分に自信をもつこと。(自覚)」、「世のため人のため地域のために何かしたい、という意志を持つこと。(立志)」そして、「今の自分の健康な心身について、これまで世話をしてくれた両親や地域の人々への感謝の言葉を伝えてください」というメッセージを贈られました。

最後に、生徒から列席した保護者や来賓の方々に対して感謝の言葉と歌(「この地球のどこかで」)の披露がありました。(地域共育課・吉山)



町在住の陶芸家、勇木史記氏を講師に招き、陶板に思いや夢を刻む記念品作りが行われました



浮田萌絵さん



島根佑典くん



戸鳴亜美さん



濱板大悟くん



磯谷千華さん

【少年の主張をした代表5名の皆さん】

法教育論文で最優秀賞！ 島前高の「熱血」武藤先生

隠岐島前高校で地歴公民科の主任をされている武藤立樹先生が、法教育への理解や関心を高めるために募集された「法教育懸賞論文」(法務省等が主催)において、全国の教員や法律の専門家などから多数の応募がある中でただ一人の「最優秀賞」に輝きました！

平成21年に裁判員制度が導入され、司法に対する国民の意識も変わりつつある昨今。細かな法律知識よりも法的な考え方や法の精神を学ばせる法教育が注目されつつあり、新学習指導要領でも平成23年度以降、小・中・高校と順次導入されます。そんな中、この懸賞論文は「学校現場において法教育を普及させるための方策について」というテーマで初めて募集されました。

その経験を土台に、論文では、法教育に関する広報活動の充実や質の高い教員の確保と育成、小学校段階からのスムーズな導入、大学等と連携した教材開発など、法教育普及のために必要な点を具体的に示しました。

受賞にあたり武藤先生は、「法教育授業の実践は、島前高校だからこそできたことであり、学校の協力に感謝したい。また、昨年8月に行った模擬裁判には町長や町民の方にもお越しいただくなど、地域の協力も有り難かったです」と語っています。

他の受賞者は弁護士や有名校教諭などそうそうたる面々であり、最優秀賞の受賞はまさに快挙です。島前高は昨年の『第1回 観光甲子園』で見事日本一になりましたが、それと同じように、従来『最後尾』とされてきた離島でも『最先端』の教育ができるということを示す結果となりました。

「今後は自信をもって、島前

高校での法教育を深化・発展させていきたい。来年度は家庭科や商業科とも連携して、私法(民法や商法など)の領域での法教育の実践を目指します！」(武藤先生談)



武藤先生といえば、生徒や父兄からも信頼の厚い「熱血先生」。進路指導やレスリング部の部長も務められていました。出身は松江北高ですが、「母校以上に島前高校を愛しています！」とのこと。取材に伺った時も、「彼らの年代は人生に一回しか無い大切な時。常に精一杯の気持ちで生徒たちに応えたい」と、温かく頼もしい笑顔を見せて下さいました。

(広報係・小坂)



※受賞論文は法務省HPにて全文掲載

ふるさとフェア 今年も大盛況

1月22〜23日、広島県立総合体育館で行われた「島根ふるさとフェア」に、海士町役場地産地商課として出展しました。今年で14回目の「ふるさとフェア」は、島根県の全21市町村(約160ブース)が物産品やご当地グルメを販売する一大イベントで、2日間で16万9千人の方が来場されました。海士町ブースでは、塩辛、海士乃塩、ふくぎ茶、しいしび、ささえカレー等を積極的にPRし、昨年を超える売上げとなりました。



漁師のおかみさんたちも大活躍！

寒シママ漬け丼、快進撃続く

1月に東京で行われた「全国ご当地どんぶり選手権」で第7位と善戦した海士の「寒シママ漬け丼」。(※選手権の詳細は役場サイトに掲載) その後、製造発売元である「ふるさと海士」では「寒シママ肝醬油漬け」(丼の具。CAS凍結商品)の注文が急増しています。東京の居酒屋「主水」でもランチで新登場し好評を博すなど、人気は今後も続きそう。未体験の方はぜひお試し下さい！



刻みネギやウズラの卵をのせればさらに美味！

■ご注文は通販サイト「島風生活」か、【TEL】08514・2・1244へ

人権・同和教育講演会

1月26日、開発センターにおいて、「源氏螢の会」代表の向村成人さんを講師にお招きして人権・同和教育講演会を開催しました。海士中学校の生徒や役員職員等、約100名の町民が参加しました。

向村さんは、島根県の人権啓発推進センターに勤務され、部落差別問題の解決に向け県内を中心に講演や啓発活動を行っておられます。当日は、「自身が経験した辛く厳しい差別体験・部落差別の現状、その中で出会った恩師や友人との温かい関わりについて熱く語っていた

ことができました。日頃は部落問題について考える機会が少ない私達にとっては衝撃的な内容でしたが、どんな苦境の中でも常に前向きな向村さんの生き方に、会場の皆さんも心打たれ、涙を流す方も多く見られました。参加された一人ひとりが、自分の身の回りの事に置き換え、それぞれが自分を振り返る貴重な時間となったと思います。

(健康福祉課・花岡)

以下、生徒さんからの感想です。(※抜粋)

●「やっぱりいじめって絶対やっちゃいけないなと改めて感じました」
(1年・男子)

●「向村さんは周りの人に支えられてここまでやってきて、そして自分が体験した話をしてくれて、すごくうれしかったです。私もまわりの人に支えられて生きているんだと改めて思いました」
(2年・女子)

●「今の僕には、差別があることに對して何をすればいいのかわかりません。ただ、「言葉」については今回よく考えることができたから、自分が軽々しく言ってしまった言葉で相手を傷つけることが今後絶対にならないようにしたいと思っています。今回は講演を聞くことができ、自分を直すことができ、本当に良かったです」
(3年・男子)

東地区老人会

ひまわりで 芸能発表会



2月17日、東地区の老人会有志の皆さんが、ひまわりで芸能発表会を行いました。老人会長の佐々木丈司さんが提案して実現したもので、区の老人会のボランティアでこのようなイベントが行われるのはひまわり初だそうです。この日は、ひまわり居住者やデイサービスのほか、諏訪苑や福来の里からも大勢が集まり、観客数は1000人を越えました。

社会福祉協議会会長の大森芳信さんは、「各施設の高齢者の皆さんの交流のきっかけにもなり、大変ありがたい。このような活動が他の区にも波及していくと嬉しいです」と挨拶されました。老人会の皆さん、すばらしい舞台をありがとうございました！



商工会、ビジネスマナー講座開催

1月29日、マリンポートホテル海士において、接客や電話応対等の基本マナーを初めに帰って身に付けていた。また宇田川氏は体験談や苦

1月29日、マリンポートホテル海士において、接客や電話応対等の基本マナーを初めに帰って身に付けていた。また宇田川氏は体験談や苦

受講者は20代から80代まで55名の老若男女。和田氏は職場での電話応対を中心に、また宇田川氏は体験談や苦

「楽しく実践！」を開催しました。講師には元アナウンサー(山陰放送)の和田季子氏、ゲストにテレポート山陰キャスターの宇田川修一氏をお迎えし、和やかな雰囲気で開催しました。

受講者は20代から80代まで55名の老若男女。和田氏は職場での電話応対を中心に、また宇田川氏は体験談や苦

し方についてなど、熱弁を振るわれました。受講者の皆さんには、この講座を機にそれぞれの職場でビジネスマナーを実践していただければと思います。

(隠岐國商工会 若林俊裕)

ちびレス

2月19日の倉敷市長杯に、海士レスリングクラブ(AWC)から8名が参加してきました。キャプテンの中村航太くん(6年)が感想を寄せてくれましたので、紹介します。

『継続は力なり!』

中村航太
僕は3歳から9年間レスリングを続けてきて、この倉敷大会が最後の大会でした。結果は出せなかったけど、レスリングを続けてきて、嫌なときもあつたけど心も体も強くなったと思います。そして、全国にたくさんさんの友達ができました。中学校へ入っても時々練習に通いたいと思います。後輩たちにこれから頑張ってもらいます。



右写真は、小学校5・6年(36kg 級)で3位に入った堂下翔生くん。3・4年(28kg 級)では澤谷孟くんも堂々3位。みんな健闘しました!